

さめがわを
彩る集い
③



鮫川和紙会

齋須寛一代表/会員9名

鮫川和紙の新たな魅力を伝える

鮫川和紙会は齋須寛一さん（赤坂中野）が作った和紙を見た人たちが、これを使ってさまざまなものが作れるのではないかと考えたことが活動のきっかけとなりました。

現在までに、ハガキはもちろん、コースターやうちわ、ランプシェードなどの和紙製品を作っています。また、県内外からの体験学習などの受け入れや体験イベントへの出展活動も行っています。

和紙には独特の風合いや温かみ、光を当てたときにおおきく変わる雰囲気など、多くの魅力や特徴があります。それらを活かして、長年、途絶えていた鮫川和紙を復活させ、鮫川村のPRにつながればよいと話してくれました。